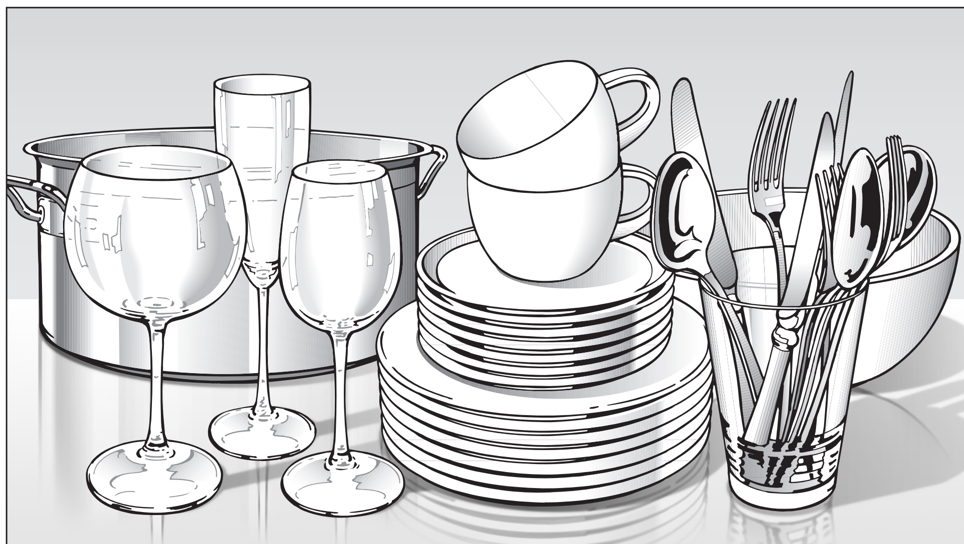
Miele

取扱説明書



全自動食器洗い機
G 4500SC

特定保守製品

お客様の安全を確保し、機器の損傷を避けるため、本製品品を初めてご使用になる前には、**必ず**この取扱説明書をお読みください。

ja - JP

M.-Nr. 07 980 920

目次

表示	表示の意味
⚠ 警　告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注　意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が中程度の傷害を負う可能性、もしくは物的損害の発生が想定される内容を示します。

■ 重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを言います。

■ 中程度の傷害とは、治療に入院・長期の通院を要しないけが、やけど、感電などを指し、物的損害とは、財産の破損および機器の損傷にかかわる拡大損害を指します。

図記号の例	
⃠	**禁　止**（してはいけないこと） 具体的な禁止内容は、図記号の中や文章で指示します。
❗	**強　制**（必ずすること） 具体的な強制内容は、図記号の中や文章で指示します。
△	**注　意**（警告を含む） 具体的な注意内容は、図記号の中や文章で指示します。

ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するため、注意事項をマークで表示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

禁止行為	潜在的な危険・警告・注意
分解禁止	感電注意
水場、湿気の多い場所での使用禁止	機器に損害を与える可能性のある場合
接触禁止	発火注意
強制／指示	高温注意
電源接続に関する注意	破裂注意
必ずアース線を接続	

安全上のご注意

本製品は、現行の安全基準に適合しています。しかし、不適切な使用は、人体への危害および、物的損害の恐れがあります。本製品を初めてご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。お客様の安全を守り本製品の損傷も防ぐことができます。本取扱説明書は大切に保管し、製品を譲渡する場合は、必ず本書を添付してください。

安全上のご注意

 **警　告**

正しい用途





本製品は業務用ではありません。ご家庭での使用、またはそれに類似する以下の職場や居住環境での使用を想定しています。

－ 店舗

－ オフィス、ショールーム

また、以下のような建物の入居者にも適しています。

－ホステル、ゲストハウス





本食器洗い機は、本取扱説明書で指定しているとおりの一般家庭向け製品として、食器およびナイフやフォークを洗浄するためにのみ使用してください。
他の目的でのご使用は製造元のサポート対象外となり、危険を伴う場合があります。本製品の不適切な使用または操作による損傷や故障は、保証対象外となり、このために生じる被害や損害の製造者責任は負いません。



お子様を含む、身体的、感覚的、または精神的に介護を要する方、操作経験のない方、操作方法を理解していない方が本製品を使用する場合は、安全にお使いになれるよう周囲の方が操作中に十分配慮するか、正しい操作方法を説明するようにしてください。

 **警　告**

お子様の安全





本製品はおもちゃではありません。ケガを避けるために、食器洗い機内や食器洗い機の近く、または操作スイッチなどでお子様を遊ばせないでください。お子様には誤操作によって生じる危険を知らせておくことが必要です。お子様がキッチンで作業するときは、お子様から目を離さないでください。お子様が食器洗い機の中に閉じ込められてしまう危険があります。



ある程度大きくなったお子様には、操作方法を分かりやすく説明し、本製品を安全に使用することができ、誤使用の危険性が理解できた場合のみ、使用を許可してください。





洗剤は、お子様の手の届かないところに保管してください。食器洗い機用洗剤には、刺激性の成分や腐食性の成分が含まれている場合があります。食器洗い機用洗剤を飲み込んだ場合、口、鼻、喉に炎症を起こしたり、呼吸ができなくなることがあります。ドアを開けているときは、お子様が食器洗い機に近づかないようにしてください。庫内に洗剤が残っている可能性があります。
お子様が洗剤を飲み込んだり、吸い込んだ場合は、すみやかに医師にご相談ください。

注　意

技術的安全性

本製品を設置する前に、外観に損傷がないかどうかを確認してください。損傷の見られる製品はどのような状況であっても使用しないでください。損傷の見られる製品の使用は、事故や損傷を招く危険性があります。

本製品は、必ずアースコンタクト付き3ピンプラグ（単相200V）を使って電源に接続してください（取り外しできない固定接続は不可）。電源コンセントは、食器洗い機の設置後も簡単に手が届く状態にし、いつでも電源から切り離せるようにしてください（「電源接続」を参照）。



本製品の後ろに電源コンセントが隠れないようにしてください。食器洗い機とのすき間が狭すぎて、プラグが圧迫されることにより、過熱する恐れがあります（火災の危険）。





本製品は、ガスレンジ、クッキングヒーターなどの調理レンジの下に取り付けないでください。レンジが発する高い放射熱により、本製品が損傷を受ける可能性があります。同様の理由から、通常、調理場にはないような熱を発する装置（火を使う暖房装置など）の横に本製品を設置しないでください。

注　意

設置が完全に終了し、ドア開閉バランスのスプリングの調整が完了するまで、食器洗い機を電源に接続しないでください。

本製品の電源プラグをコンセントに差し込む前に、ご使用の電圧、周波数、定格消費電力が型式表示シールに記載された仕様に適合しているか確認してください。不明点がある場合は、資格を有する電気技師にご相談ください。



本製品の電気系統についての安全が保障されるためには、有効な接地（アース）機構と本製品との間に、導通が確保されていなければなりません。この基本的な安全要件を満たし、定期的なテストを行う必要があります。何か問題がありそうな場合は、資格を有する電気技師に家屋内の電気配線の検査を依頼する必要があります。
不適切な接地工事による問題（感電事故など）は、保証対象外となり、このために生じる被害や損害の製造者責任は負いません。



延長コードやマルチソケットを使用したたこ足配線で電源に接続するのはお止めください。
これらを使用すると過熱などの恐れがあり、危険です。



電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重い物をのせたり、挟み込んだり、加工したりしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

安全上のご注意

 注　意



給水用プラスチック製ケースには、電磁弁が含まれていますので、水につけないでください。



給水ホースには、電気の流れる導線が取り付けられています。切って短くすることはできません。



以下の条件が満たされている場合、食器洗い機の防水システムが水による被害を防ぎます。

– 規定に従って設置されている。

– 何らかの不具合が生じた際、適切に食器洗い機の修理または部品の交換が行われている。

– 長い間使用しない場合（旅行の間など）、止水栓が閉められている。



防水システムは、本製品のスイッチが切られていても機能します。ただし、本製品が電源に接続されている必要があります。



損傷の見られる製品の使用は、事故や損傷を招く危険性があります。食器洗い機が損傷したり、動かなくなった場合は、すぐにスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、お求めの販売店またはミーレ・ジャパンコールセンターまでご連絡ください。

 注　意



改造はしないでください。また、無資格者による修理は非常に危険です。火災・感電・けがの原因となります。このために生じる被害や損害の製造者責任は負いません。
修理は、ミーレ認定の専門技術者のみが行う必要があります。



部品の交換が行われる場合は、ミーレ製の純正部品のみ使用してください。純正部品が使用されている場合のみ、本製品の安全基準の保証対象となります。



食器洗い機のメンテナンスを行う場合は、必ず食器洗い機を電源から切り離してから行ってください（食器洗い機のスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜きます）。



電源コードが損傷した場合は、必ずミーレが販売する専用コードに交換する必要があります。安全のため、交換の際は必ずミーレ・ジャパンコールセンターにお問い合わせいただくか、ミーレ指定の修理技術者が交換するようにしてください。



ゴキブリなどの害虫が出現しやすい環境では、本製品とその周辺を常に清潔な状態に保つよう特に注意してください。ゴキブリなどの害虫を原因とする損傷は保証対象外です。

 警　告



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火する恐れがあります。




電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。火災の原因になります。

設置



食器洗い機の設置および接続は、設置施工手順書に従って行ってください。



食器洗い機が正常に機能するには、水平に設置する必要があります。



安定性を確保するために、ビルトイン式の食器洗い機は、必ず十分に固定されているカウンターの下に設置してください。



ドア開閉バランスのスプリングは両側で均等に調整してください。ドアを 45 度の角度で開いたままにして、ドアが動かなければ、正しく調整されています。ドアがスプリングで固定され、外れて開かないようにすることが重要です。

 注　意

正しい使用方法




食器洗い機内で溶剤（ベンジンなど）を使用しないでください。爆発する恐れがあります。



食器洗い機用洗剤を吸い込んだり、飲み込まないようご注意ください。食器洗い機用洗剤には、刺激性の成分や腐食性の成分が含まれている場合があります。食器洗い機用洗剤を飲み込んだ場合、鼻、口、喉に炎症を起こしたり、呼吸ができなくなることがあります。洗剤を飲み込んだり、吸い込んだりした場合は、すみやかに医師にご相談ください。



食器洗い機のドアを不用意に開けたままにしないようご注意ください。開いたドアにぶつかる場合があります。




開いているドアに座ったり、寄りかかったりしないでください。食器洗い機が傾いて、ケガをしたり、食器洗い機が損傷する可能性があります。




必ず市販の家庭用食器洗い機専用の洗剤および乾燥仕上剤をご使用ください。
食器用台所洗剤は使用しないでください。





業務用や工業用の洗剤を使用しないでください。食器洗い機が損傷したり、有害な化学反応が起きる危険性があります。

安全上のご注意

 注　意




粉末洗剤やリンス剤以外の液体洗剤を乾燥仕上剤投入口に入れないようご注意ください。乾燥仕上剤の容器が破損する恐れがあります。



プラスチック製の使い捨て容器、小物類、食器など、温水での洗浄に耐えられないプラスチック製品は、食器洗い機で洗わないでください。食器洗い機内の高温状態によって溶けたり、変形することがあります。



食器の取り出し、フィルターの掃除、お手入れは運転終了後 30 分以上経過してから行ってください。やけどをする恐れがあります。




運転中は本体に衝撃を与えないで下さい。感電や漏電・ショートのによる火災の恐れがあります。



火のついたローソク、蚊取り線香、タバコなどの火気や揮発性の引火物を近づけないでください。変形や火災の恐れがあります。


洗剤を入れる前に、洗剤の投入口が乾いていることをご確認ください。濡れている場合は、水気を拭き取ってください。湿っている洗剤投入口に洗剤を入れた場合、洗剤が固まってしまい、溶けきらないことがあります。

 注　意

付属品



本製品では、ミーレの純正部品および付属品を使用してください。他のメーカー製の部品や付属品を使用した場合は、保証対象外となり、このために生じる被害や損害の製造者責任は負いません。

使用済み製品の廃棄処分




お子様が誤って閉じ込められないように、ドアロックを壊してください。本製品の廃棄に関しては、お住まいの地域の条例に従ってください。

安全上の注意を無視したために生じた被害や損害の製造者責任は負いかねます。

梱包材の廃棄処分

輸送時の保護用の詰め物は、廃棄する際に環境への影響が少ない材質を使用しているため、リサイクルすることを推奨します。

プラスチックの包装や袋は確実に安全に処分し、乳幼児に近づけないでください。窒息する恐れがあります。

梱包材には、以下の素材が使用されています。

外材 :

– リサイクル素材 100% 使用の段ボール、またはポリエチレン（PE）製のストレッチフィルム

– ポリプロピレン（PP）製の結束バンド

内材 :

– 塩素およびフッ素を含まない発砲スチロール（EPS）

– 再生可能な森林から採取した天然木使用の底、蓋枠、および補強用板

– ポリエチレン（PE）製の保護ビニール

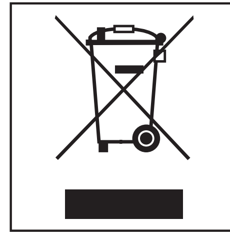
これらの梱包材は単に廃棄するよりも、リサイクルすることを心がけてください。

使用済み製品の廃棄処分

電気および電子機器の中には、取り扱いや廃棄方法を誤ると、人体や環境に悪影響を及ぼす恐れのある物質が含まれていることがあります。

ただし、このような物質は製品が正常に機能するために不可欠なものです。

したがって、不要になった製品は家庭ゴミとしては出さないでください。



不要になった製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指定する廃棄物処理施設に廃棄を依頼するか、弊社代理店のアドバイスを受けてください。処分するまでの間、ご自宅で保管するときは、お子様に危険が及ばないように正しく管理してください。

リサイクルのためのプラスチック分別ができるよう、製品の各プラスチックパーツには国際基準の記号が刻印されています。

環境保護のために

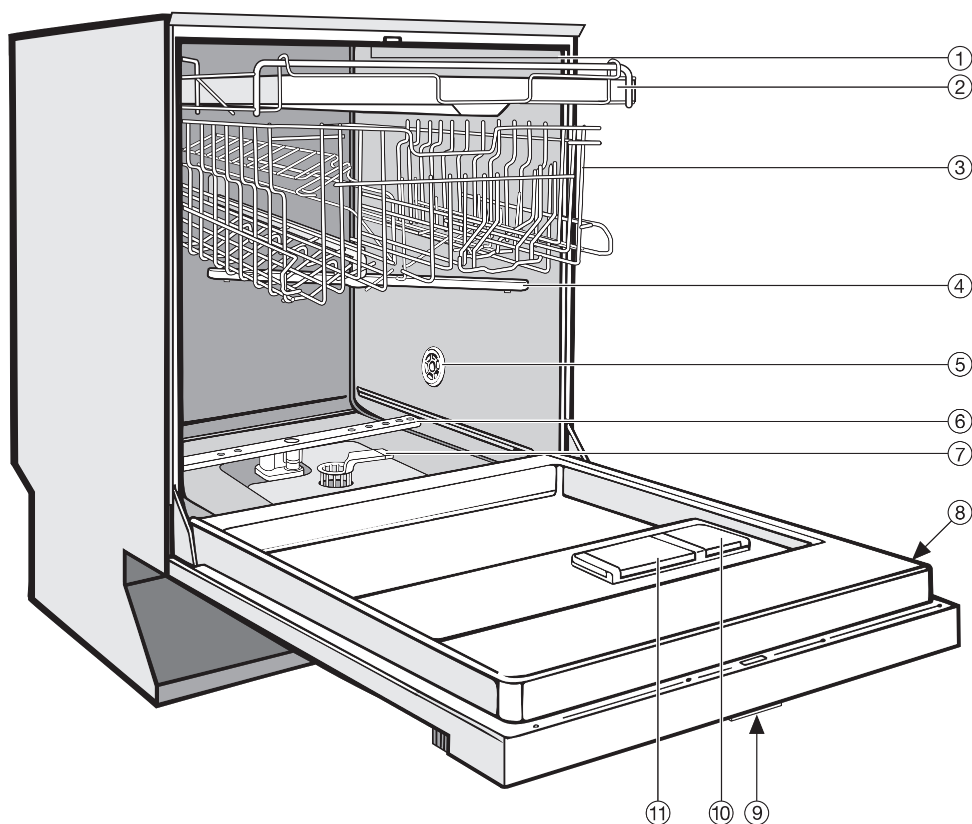
エネルギーを節約できる洗い方

本食器洗い機は、節水および節電効果の高い製品です。以下に挙げるポイントに注意してご使用いただくと、本製品の経済性を最大限に活かすことができます。

- 本食器洗い機は、給湯に接続することができます（60 ℃以下）。例えば、循環ラインを備えたソーラーエネルギーなど、省エネルギータイプの温水装置との接続を行うと、エネルギーの節約につながります。ただし、電気温水装置をご使用の場合は、冷水に接続することをお奨めします。
- バスケットを上手く活用して食器を配置してください。ただし、つめこみ過ぎにご注意ください。
- 洗う食器の種類と汚れの程度に適したプログラムを選択してください。
- エネルギーを節約して洗うには、「Energy save（エネルギーセーブ）」プログラムを選択します。
- 洗剤の投入量については、洗剤の製造元の指示に従ってください。
- 粉末洗剤または液体洗剤をご使用の場合、洗う食器がバスケット全体の半分のときは、2/3 の洗剤量で済みます。

本製品全体図

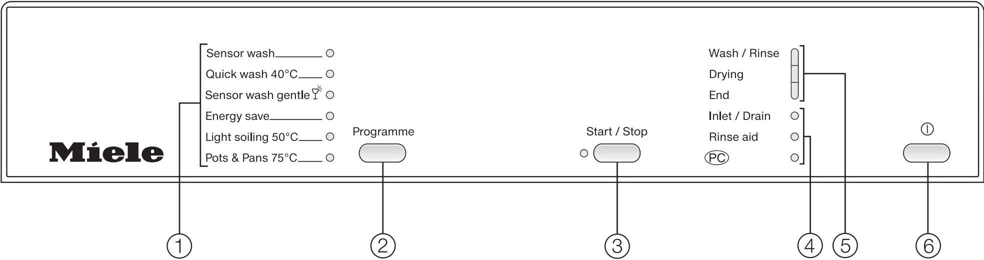
＊型式によって仕様は異なります。



① 上段スプレーアーム
② カトラリートレイ
③ 上段バスケット
④ 中段スプレーアーム
⑤ 乾燥時の給排気口
⑥ 下段スプレーアーム
⑦ トリプルフィルター
⑧ 型式表示シール
⑨ チャイルドロック
⑩ 乾燥仕上剤投入口
⑪ 洗剤投入口

各部の名称

操作パネル



① プログラムランプ

② 「Programme（プログラム）」スイッチ

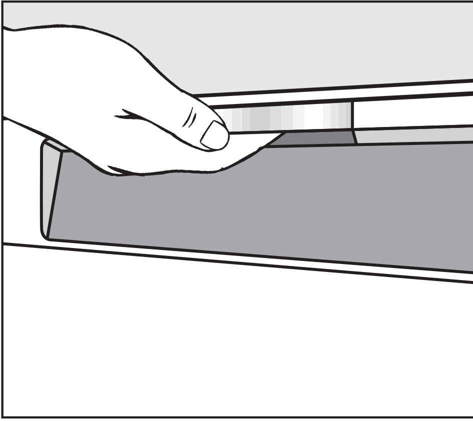
③ 「Start/Stop（スタート / ストップ）」スイッチ（表示ランプ付き）

④ トラブルチェックランプ

⑤ プログラム進行表示ランプ

⑥ 電源スイッチ（ON/OFF）Ⓘ

ドアの開け方



■ 取っ手の下に手を伸ばして、ドアを手前に引きます。

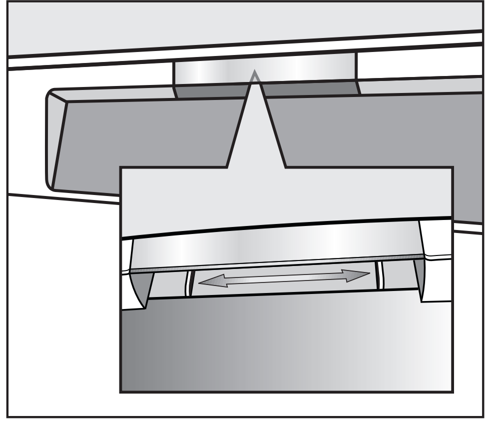
運転中にドアを開けると、すべての機能が自動的に中断します。

ドアの閉め方

■ バスケットを奥まで押し込みます。

■ ドアを上方向に持ち上げ、カチッと音がして所定の位置に収まるまで押します。

チャイルドロック



お子様が食器洗い機のドアを開けるのを防ぐには、チャイルドロックを使ってドアをロックします。

■ ドアをロックするには、ドアの取っ手下のスライドを右にずらします。

■ ドアのロックを解除するには、スライドを左にずらします。

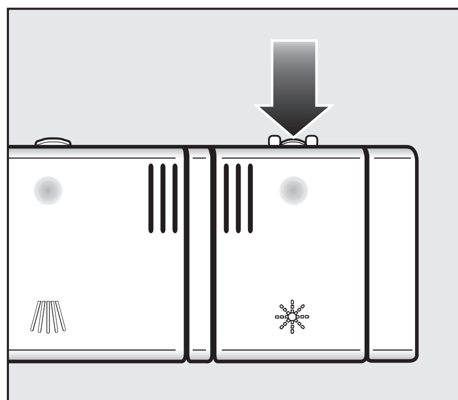
乾燥仕上剤

乾燥仕上剤を使用すると、乾燥時の食器の水切れを良くし、水滴のあとが残るのを防ぐことができます。また、洗浄後の食器を早く乾かす効果もあります。乾燥仕上剤は、乾燥仕上剤の容器がいっぱいになるまで注いでください。運転時には、設定した量が自動的に投入されます。

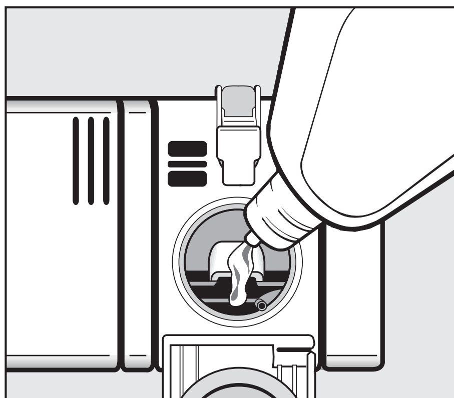


乾燥仕上剤投入口には、食器洗い機用の粉末洗剤や液体洗剤を入れないでください。投入口に深刻な損傷を与えます。乾燥仕上剤投入口には、必ず家庭用食器洗い機用の乾燥仕上剤を入れてください。

乾燥仕上剤の補給



■ 乾燥仕上剤投入口のフタの上にあるボタンを矢印の方向に押すと、カバーが開きます。



■ 乾燥仕上剤は、開口部から見えるようになるまで補給します。

乾燥仕上剤の容器の容量は、約 110 ml です。

■ カチッという音がして所定の位置に収まるまで、カバーをしっかりと閉めます。きちんと閉まっていないと、洗浄中に水が乾燥仕上剤の容器に入ることがあります。

■ こぼれた場合は乾燥仕上剤を拭き取ります。次回プログラムを実行したときに、泡が立ちすぎるのを防ぐことができます。

「Rinse aid（リンスエイド）」表示ランプ

「Rinse aid（リンスエイド）」表示ランプが点灯した場合、乾燥仕上剤の容器には、プログラムを 2、3 回実行できる乾燥仕上剤しか残っていません。

■ 乾燥仕上剤は早めに補給してください。

乾燥仕上剤の投入量の設定

乾燥仕上剤の投入量を最適な仕上がりになるように調整することができます。

乾燥仕上剤の投入量は、約 0 ～ 6 ml に設定できます。工場出荷時には、約 3 ml に設定されています。これは、お奨めの投入量です。

食器やガラス製品に水滴のあとが残る場合は、以下のようにしてください。

■ 乾燥仕上剤の投入量を増やします。

食器やガラス製品に曇りや汚れが残る場合は、以下のようにしてください。

■ 乾燥仕上剤の投入量を減らします。

■ 電源スイッチ（ON/OFF） ⓘ を押して、食器洗い機の電源を切ります。

■ 「Start/Stop（**スタート / ストップ**）」スイッチを**押しながら**電源スイッチ（ON/OFF） ⓘ を押して、食器洗い機の電源を入れます。
「Start/Stop（**スタート / ストップ**）」スイッチは、「Start/Stop（**スタート / ストップ**）」表示ランプが点灯するまで押し続けてください。

表示ランプが点灯しない場合は、上記の手順を最初からやり直します。

■ 「Programme（**プログラム**）」スイッチを短く 3 回押します。

一番下のプログラム表示ランプが間隔をおいて短く 3 回点滅します。

「Wash/Rinse（**洗浄 / すすぎ**）」表示ランプが間隔をおいて短く 3 回点滅します。これは、プログラム 1 回あたり約 3 ml の乾燥仕上剤が使用されることを示します（工場出荷時設定）。

「Wash/Rinse（**洗浄 / すすぎ**）」表示ランプの点滅回数は、現在設定されている乾燥仕上剤の投入量を示します（表を参照）。

乾燥仕上剤（ml）	点滅回数
0	-
1	1 回
2	2 回
3	**3 回**
4	4 回
5	5 回
6	6 回

■ 「Start/Stop（**スタート / ストップ**）」スイッチを使用して、乾燥仕上剤の希望投入量に相当する点滅回数を選択します。1 回押すごとにレベルが 1 段階上がります。

設定した乾燥仕上剤の投入量がメモリーに保存されます。

■ 電源スイッチ（ON/OFF） ⓘ を押して、食器洗い機の電源を切ります。

食器の入れ方

注意点

食器をセットする前に、付着している残菜を落としてください。

流水で汚れを洗い落とす必要はありません。



食器洗い機では、灰、砂、ワックス、潤滑油、またはペンキで汚れたものを洗わないでください。
これらを洗うと、食器洗い機が損傷する恐れがあります。

食器類は、バスケットのどの場所にもセットできますが、以下の注意事項をお守りください。

– 食器および小物類を重ねた状態で入れないでください。

– 洗浄効果を高めるために、食器類は、水がすべての表面に当たるようにセットしてください。

– すべての食器が安定した状態でセットされていることをご確認ください。

– カップ、グラス、鍋などのくぼんだものは、バスケットに伏せて入れてください。

– シャンパングラスなど、高さがあり細くくぼんだものは、水が十分に当たるように、バスケットの中央に入れてください。

– 幅のある食器は、水がしっかりと切れるような角度で置いてください。

– 食器の高さが高すぎたり、バスケットの下からはみ出している場合、スプレーアームの回転が妨げられることがあります。
場合によっては、スプレーアームを手で回して回転するかどうかご確認ください。

– 小物類がバスケットから落ちないことをご確認ください。フタなどの小さなものは、カトラリートレイに入れてください。

人参、トマト、ケチャップなど、天然色素が含まれる食品が大量に付着した食器を食器洗い機に入れると、プラスチック製品が変色する恐れがあります。この変色によって、プラスチック製品が変質することはありません。

洗ってはいけない食器類

– 木製または部分的に木が使用されている小物類および食器：
変色したり色あせしたりすることがあります。さらに、接着剤がはがれて木製の柄などが外れてしまう場合があります。

– 陶芸品やアンティーク製品、高価な花瓶や装飾付きガラス製品：
食器洗い機で洗わないでください。

– 耐熱性のないプラスチック製品：
食器洗い機内の高温状態によって溶けたり、変形することがあります。

– 銅、真鍮、錫、アルミニウム製品：
変色したり、つやがなくなることがあります。

– 上絵付けを施した陶器：
何度も洗っているうちに色あせすることがあります。

– グラス：
何度も洗うと曇ることがあります。デリケートなガラス製品や鉛を含んだクリスタル製品は、食器洗い機で洗わないでください。

– 土鍋

以下のことをお奨めします。

– 食器および小物類をご購入の際は、食器洗い機に適応したものをお選びください。

– デリケートなガラス製品を食器洗い機で洗う場合は、必ず低温の洗浄プログラム（「**プログラム早見表**」を参照）またはガラス製品専用プログラムをご使用ください。他のプログラムに比べ、曇りの発生が少なくなります。

– デリケートなガラス製品は、手で洗うようにしてください。

以下の点にご注意ください。

銀製品用の磨き剤で磨かれた**銀製品**は、洗浄が終了した後も水気や水滴のあとが残ることがあります。これは、水切れが悪くなるためです。その場合は、柔らかい布で水気を拭き取ってください。

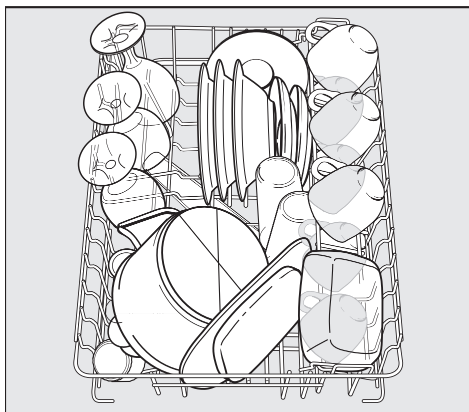
銀製品は、硫黄を含む食品と接触すると、変色することがあります。これに該当する食品には、卵黄、タマネギ、マヨネーズ、マスタード、豆類、魚、塩水漬けの魚、マリネなどがあります。



アルミニウム製品には、業務用または工業用の苛性アルカリ洗剤を使用しないでください。材質を傷め、極端な場合は、爆発のような化学反応（爆鳴気反応など）を起こす危険があります。

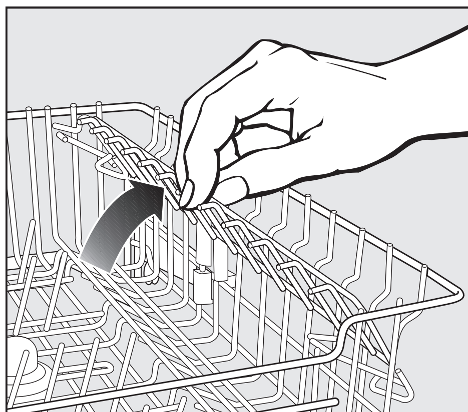
上段バスケット


安全上の理由から、必ず上段および下段バスケットを取り付けた状態で洗浄を行ってください。



- 上段バスケットには、カップ、ソーサー、グラス、デザート皿など、小さくて軽く、デリケートな食器類をセットします。浅い鍋やキャセロール皿も、上段バスケットに入れることができます。

カップラック



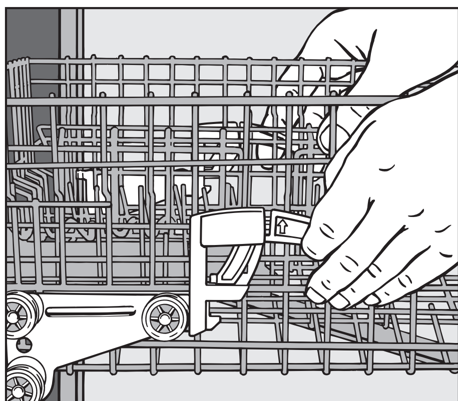
- 高さのある食器類を入れるスペースを作るために、ラックを上方向に上げることができます。

上段バスケットの高さ調節

上段バスケットまたは下段バスケットに高さのある食器を入れるスペースを作るために、上段バスケットの高さを約 2 cm の間隔で 3 段階に変更することができます。

上段バスケットを傾ける（一方の側を高くし、他方の側を低くする）こともできます。これは、深皿などに水が残るのを防ぐために便利です。ただし、バスケットをスムーズに庫内に入れられることをご確認ください。バスケットの高さ調節は、バスケットに食器類をセットする前に行うことをお奨めします。

■ 上段バスケットを引き上げます。



上段バスケットを上げるには、以下の手順を実行します。

■ 所定の位置に収まるまで、バスケットを引き上げます。

上段バスケットを下げるには、以下の手順を実行します。

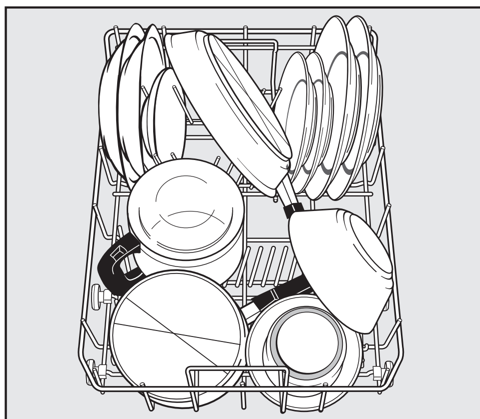
■ 上段バスケットの左右のレバーを引き上げます。

■ バスケットが希望の高さになるように調節してから、カチッという音がして所定の位置に戻るまでレバーをしっかり下げます。

上段バスケットの設定位置に応じて、以下のサイズの皿を入れることができます。

上段バスケットの位置	皿の直径（cm）	
	上段バスケット	下段バスケット
上	15	31
中	17	29
下	19	27

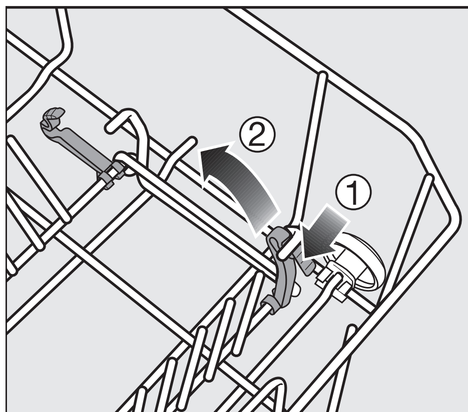
下段バスケット



■ 皿、大皿、片手鍋、ボールなど、大きくて重いものを入れます。
ソーサーなどの小さな食器類を入れることもできます。
下段バスケットには、デリケートなガラス製品を入れないでください。

可倒式ピン

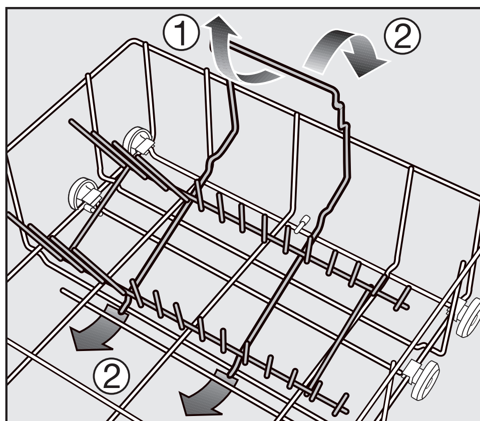
鍋、平鍋、皿など大きなものを入れるスペースを作るために、バスケット手前にあるピンは両列とも下げることができます。



■ 黄色いレバーを押し下げ①、ピンを倒します②。

着脱式スパイクインサート

キャセロール皿など大きなものを入れるスペースを作るために、後方の着脱式スパイクインサートを取り外すことができます。



取り外し方①

■ 図の矢印の方向に取っ手を引き上げます。

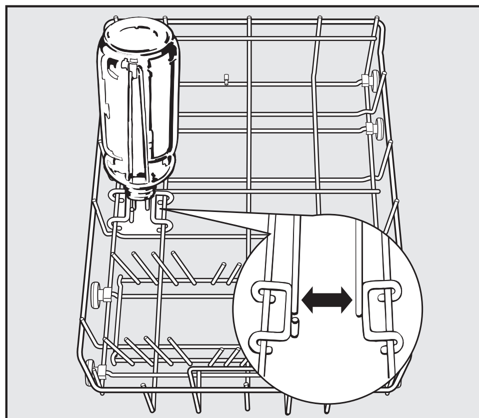
取り付け方②

■ 図のように、下段バスケットの縦ワイヤーの下にフックを差し込み、着脱部をはめ込みます。

■ 所定の位置にしっかりと収まるまで、取っ手を押し込みます。

ボトルホルダー（型式によって異なります）

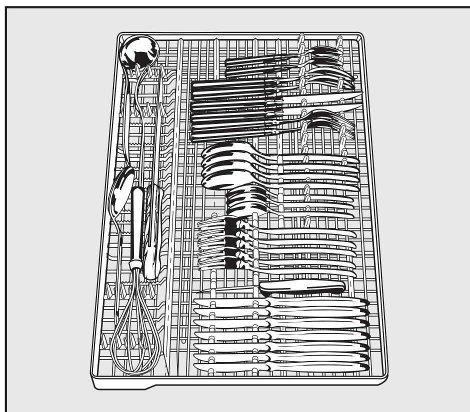
ボトルホルダーは、牛乳瓶や哺乳瓶など細長い容器を洗うときに使用できます。



■ ボトルホルダーは、下段バスケットの図の位置に取り付けます。ボトルホルダーは、角に取り付けないでください。角に取り付けると、瓶の内側まで洗浄水が届かなくなり、瓶がよく洗えません。

小物類

カトラリートレイ

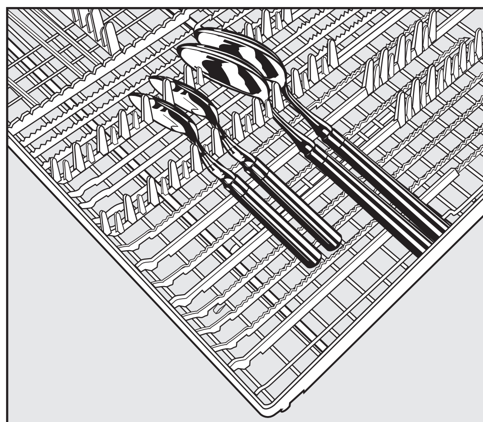


■ 小物類は、図のようにトレイに並べます。

ナイフ、フォーク、スプーンなどを分類して入れると、取り出すときに手早く片付けられます。

スプーンに水が残らないようにするため、スプーンはすくい取る部分をカトラリートレイの切り込み部分に入れるか、重ならないよう注意して伏せて置いてください。

高さのあるケーキサーバーなどが上段スプレーアームの回転を妨げないようにしてください。



スプーンの柄が切り込みの間に収まらない場合は、逆向きにして入れます。

洗剤



必ず家庭用食器洗い機専用の洗剤をご使用ください。食器用台所洗剤は使用しないでください。

有効成分

最新の洗剤には、さまざまな有効成分が含まれています。最も重要な成分は以下のとおりです。

– リン酸塩。石灰化を防ぎます。

– アルカリ。乾いてこびりついた汚れの除去に役立ちます。

– 酵素。でんぷんを分解し、たんぱく質を浮かせます。

– 酸素を含む漂白剤。色染み（紅茶、コーヒー、トマトソースなど）を取り除きます。

食器洗い機用洗剤にはリン酸塩が含まれている場合があります。これらは、酵素および酸素ベースの漂白剤を含む弱アルカリ性洗剤です。

洗剤の種類 :

– 粉末洗剤および液体洗剤。
これらの洗剤を使用する場合、食器類のサイズや汚れの程度に応じて、投入量を調節できます。

– タブレット洗剤。ほとんどの汚れに使用できます。

投入

■ パッケージに記載の製造元の推奨投入量に従ってください。

■ 特に指示がない場合は、汚れの程度に応じて、投入容器 II に 20 〜 30 ml の洗剤を入れます。汚れがひどい場合は、投入容器 1 に少量の洗剤を追加することもできます（「**プログラム早見表**」を参照）。

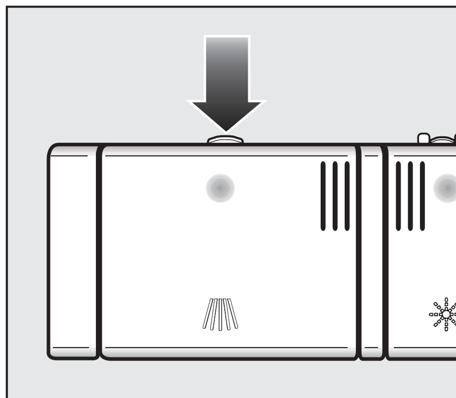
■ 「Quick wash 40 ℃（クイックウォッシュ 40 ℃）」プログラムでは、タブレットが十分に溶けない場合があります。

パッケージに記載されている洗剤の使用量を守らないと、十分な洗浄効果が得られないことがあります。



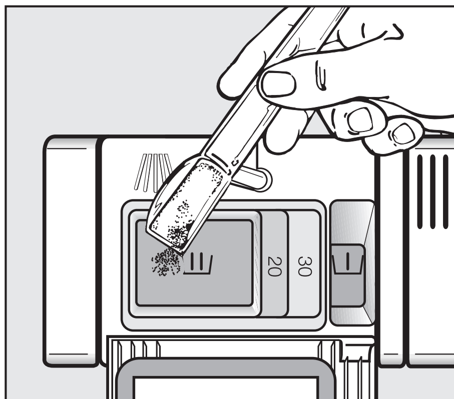
粉末洗剤を吸い込んだり、食器洗い機用洗剤を飲み込んだりしないようご注意ください。食器洗い機用洗剤には、刺激性の成分や腐食性の成分が含まれている場合があります。食器洗い機用洗剤を飲み込んだ場合、鼻、口、喉に炎症を起こしたり、呼吸ができなくなることがあります。
洗剤を飲み込んだり、吸い込んだりした場合は、すみやかに医師にご相談ください。洗剤などの家庭用化学薬品は、お子様の手の届かない場所に保管してください。ドアを開けているときは、お子様が食器洗い機に近づかないようにしてください。庫内に洗剤が残っている可能性があります。お子様が食器洗い機用洗剤に触れる危険を防ぐためには、プログラムを開始する直前に洗剤を入れ、ドアを閉めて、チャイルドロックをオンにします（チャイルドロック機能付きの場合）。

洗剤の入れ方



■ 洗剤投入口の上の開閉ボタンを図の矢印の方向に押すと、カバーが開きます。

プログラム終了後、カバーは開いた状態になっています。



■ 洗剤を投入口に入れ、カバーを閉めます。

■ 洗剤が湿って固まるのを防ぐため、使用後は洗剤パッケージの口をきちんと閉めてください。

投入量の目安

投入容器Iには最大10 mlの洗剤が入ります。

投入容器IIには最大50 mlの洗剤が入ります。

投入容器 II には目安として、20、30 というマークが付いています。これらのマークは、ドアが水平に開いている状態でのおおよその量を ml で示しています。

電源を入れる

■ すべてのスプレーアームが無理なく回転することを確認します。

■ ドアを閉めます。

■ 止水栓が閉まっている場合は、開けます。

■ 電源スイッチ（ON/OFF） ⓘ を押して、食器洗い機の電源を入れます。

「Start/Stop（**スタート / ストップ**）」表示ランプが点滅し、最後に選択したプログラムの表示ランプが点灯します。

プログラムの選択

食器類の種類と汚れの程度に応じて、プログラムを選択してください。

プログラムの種類と使い方については、本書の「**プログラム早見表**」を参照してください。

ここで、追加機能を選択できます（「追加機能」を参照）。

プログラムの開始

■ 「Programme（**プログラム**）」スイッチで、必要なプログラムを選択します。

選択したプログラムの隣にある表示ランプが点灯します。

■ 「Start/Stop（**スタート / ストップ**）」スイッチを押します。

プログラムが開始します。「Start/Stop（**スタート / ストップ**）」表示ランプ、「Wash/Rinse（**洗浄 / すすぎ**）」表示ランプ、および選択したプログラムの隣にある表示ランプがすべて点灯します。

プログラムを取り消す場合は、プログラムが開始してから数分以内に行ってください。この時間を過ぎると、プログラムを取り消しても、プログラムは最後まで続行されます。

プログラム進行表示ランプ

プログラムが開始すると、現在の工程がプログラム進行表示ランプで示されます。

スタンバイ

エネルギー節約のため、最後にスイッチに触れてから、あるいはプログラムが終了してから数分後に、食器洗い機はスタンバイモードに切り替わります。表示ランプが消え、「Start/Stop（スタート / ストップ）」表示ランプのみがゆっくり点滅します。

■ 表示ランプの電源を再び入れるには、任意のスイッチ（電源スイッチ（ON/OFF）Ⓘ 以外）を押します。

乾燥仕上剤を補給する必要がある場合、またはエラーがある場合には、食器洗い機はスタンバイモードに切り替わりません。

プログラムの終了

「End（終了）」表示ランプは、プログラムが終了すると点灯します。

乾燥ファンは、「Quick wash（クイックウォッシュ）」プログラムの最後に、引き続き数分間運転されます。

これで、食器洗い機を開けて、食器類を取り出すことができます（「食器の取り出し方」を参照）。



食器洗い機の上にある天板の縁が蒸気によって損傷するのを防ぐため、運転終了後もしばらくドアを閉めたままにすることをお奨めします。または、食器類が取り出しても安全な温度になるまで十分に冷めるよう、ドアをいっぱいまで開けて、蒸気が一気に庫外へ出るようにしてください。ドアを細く開けたままで放置しないでください。

電源を切る

プログラムが終了したら、以下の操作を行ってください。

■ 電源スイッチ（ON/OFF） Ⓘ を押して、食器洗い機の電源を切ります。

電源スイッチ（ON/OFF）Ⓘ を押して電源を切るまで、食器洗い機は電力を消費し続けます。

休暇などで食器洗い機を長期間使用しない場合は、止水栓を閉めてください。

食器の取り出し方

食器が熱いと、壊れたり欠けたりしやすくなります。取り出す前に、食器が扱いやすい温度に冷めるまでお待ちください。

電源を切った後にドアを全開にすると、食器を早く冷ますことができます。

■ まず下段バスケットから取り出し、次に上段バスケット、最後にカトラリートレイの順に取り出します。最初に下段から取り出すことで、上段バスケットとカトラリートレイの水滴が下段バスケットの食器に落ちるのを防ぐことができます。

プログラムの中断

プログラムは、ドアを開くと中断します。再びドアを閉めると、プログラムは数秒後に中断したところから続行されます。



食器洗い機内の水が高温の場合、火傷の危険があります。ドアは必要な場合にのみ開け、開ける場合は細心の注意を払って行ってください。ドアを再び閉める前に、約 20 秒間ドアを半開きにします。これによって庫内の温度を補正し、気圧の膨張による水漏れなどを防ぐことができます。その後、カチッとかみ合うまで、ドアをしっかりと押してください。

プログラムの変更

洗剤の容器のフタがすでに開いている場合は、プログラムの変更を行わないでください。

プログラムがすでに開始されている場合、以下の手順でプログラムを変更することができます。

■ 「Start/Stop（スタート / ストップ）」スイッチを最低 1 秒間押します。

プログラムが取り消されます。「Start/Stop（スタート / ストップ）」表示ランプが点滅します。

■ ご希望のプログラムを選択し、開始します。

工場出荷時設定

工場出荷時の初期設定から設定を変更した場合、以下の手順に従って、工場出荷時の初期設定に戻すことができます。

■ 電源スイッチ（ON/OFF） ⏀ を押して、食器洗い機の電源を切ります。

■ 「Start/Stop（スタート / ストップ）」スイッチを**押しながら**電源スイッチ（ON/OFF） ⏀ を押して、食器洗い機の電源を入れます。
「Start/Stop（スタート / ストップ）」スイッチは、「Start/Stop（スタート / ストップ）」表示ランプが点灯するまで最低 4 秒間押し続けてください。

表示ランプが点灯しない場合は、上記の手順を最初からやり直します。

■ 「Programme（プログラム）」スイッチを短く 12 回押します。

一番下のプログラム表示ランプが 1 回長く点滅した後、間隔をおいて短く 2 回点滅します。

「Wash/Rinse（洗浄 / すすぎ）」表示ランプが、現在の設定を示します。

– 「Wash/Rinse（洗浄 / すすぎ）」表示ランプが点滅している場合、すべての設定が工場出荷時の初期設定になっています。

– 「Wash/Rinse（洗浄 / すすぎ）」表示ランプが消灯している場合、少なくとも 1 つの設定が工場出荷時の初期設定から変更されています。

■ 食器洗い機の設定を工場出荷時の初期設定に戻すには、「Start/Stop（スタート / ストップ）」スイッチを押します。

これで設定がメモリに保存されました。

■ 電源スイッチ（ON/OFF） ⏀ を押して、食器洗い機の電源を切ります。

食器洗い機は定期的にお手入れしてください。定期点検によって、故障や問題の発生を防ぐことができます。


食器洗い機の表面は、こすったりぶつけたりすると、傷がつく恐れがあります。
不適切な洗剤に触れると、表面が変形または変色することもあります。

庫内のクリーニング

庫内は、常に正しい量の洗剤が使用されていれば、自然にクリーニングされています。

ただし、庫内にカルキまたは油汚れの付着が見られた場合は、市販の食器洗い機用クリーナーで落とすことができます。

ドア内側のドアパッキンおよびステンレス面のクリーニング

■ ドア内側のドアパッキンは、湿らせた布で定期的に拭き、付着した汚れを取り除きます。

■ 食器洗い機に食器を入れるときに、残菜がドアの両サイドに付着することがあります。
この部分には、スプレーアームの水が届きません。食器洗い機のドアを閉める前に、この部分の汚れを拭き取ってください。

食器洗い機表面のクリーニング


汚れはすぐに拭き取ってください。

汚れを放置しておくと落とせなくなる可能性があり、表面が変形または変色する原因になります。

■ 本製品の表面は、お湯に溶かした食器用洗剤を湿らせた布またはスポンジにつけて掃除します。その後柔らかい布で拭き取ってください。

表面の損傷を防ぐため､以下のものは使用しないでください。

– ナトリウム化合物、アンモニア、酸、塩素系漂白剤を含む洗剤

– 酸化膜スケール除去剤を含むクリーナー

– 粉またはクリーム状の研磨剤

– 溶剤を含むクリーナー

– ステンレス用の洗剤

– 食器洗い機用クリーナー

– オーブン用スプレー

– ガラス用クリーナー

– 研磨剤入りの硬いスポンジやブラシ（鍋磨き用スポンジなど）

– メラミンスポンジ

– とがった金属べら

トリプルフィルターのクリーニング

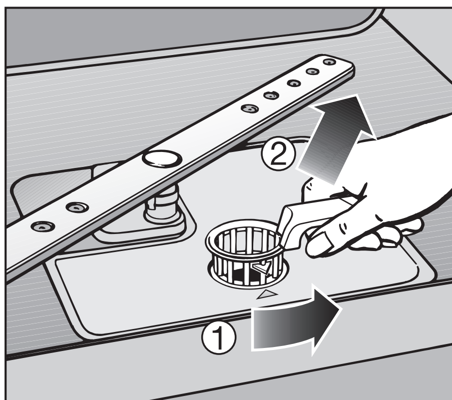
庫内の底にあるトリプルフィルターは、洗浄水に含まれる大きなゴミやカスをろ過します。これにより、これらのゴミやカスが循環システムに入り込み、スプレーアームから再び庫内に戻されるのを防ぎます。


必ずすべてのフィルターを取り付けた状態で食器洗い機を運転してください。

フィルターは、時間が経つとゴミやカスが溜まり、詰まることがあります。ゴミやカスが溜まるまでの時間は、使用状況によって異なります。

定期的にフィルターの状態を確認し、掃除してください。

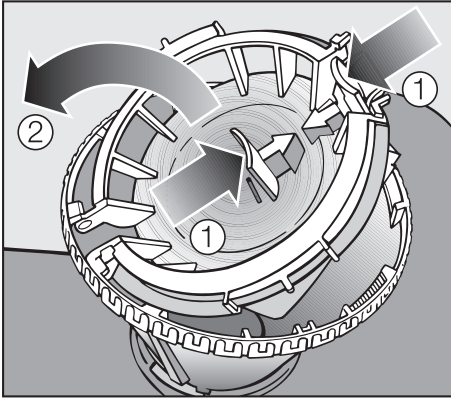
■ 食器洗い機の電源を切ります。



■ ハンドルを反時計回りに回して、トリプルフィルターのロックを外します①。

■ トリプルフィルターを持ち上げ、食器洗い機から取り出します②。ゴミやカスを取り除き、フィルターを流水でよく洗い流します。必要な場合は、ナイロンブラシを使用してください。


フィルターを掃除する際には、大きなゴミやカスが循環システムに入らないようにしてください。詰まってしまい、故障の原因となります。

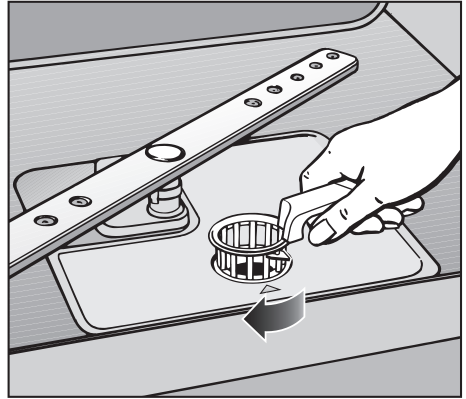


トリプルフィルターのカバーを開けて、内側を掃除します。

■ 図の矢印の方向につめを同時に押し①、カバーを開けます②。

■ すべてのフィルターを流水ですすぎます。

■ つめがかみ合うようにカバーを閉めます。



■ トリプルフィルターを庫内の底に水平になるように戻します。

■ ハンドルを時計回りに回して、トリプルフィルターを所定の位置にロックします。

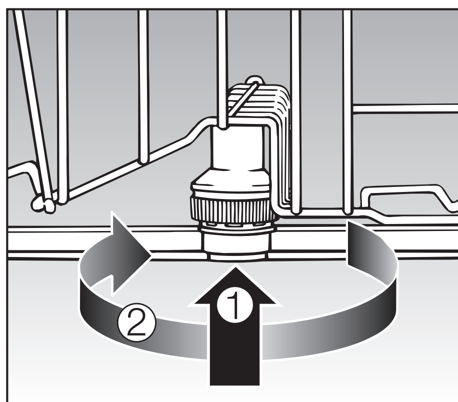

トリプルフィルターは、必ず所定の位置に正しく固定してください。
適切に取り付けられていないと、大きなゴミやカスが循環システムに入って詰まってしまい、故障の原因となります。

スプレーアームのクリーニング

スプレーアームの噴水口や軸受けに、残菜が詰まることがあります。そのため、スプレーアームは、定期的に点検し、掃除してください（約 4 ～ 6ヶ月ごと）。

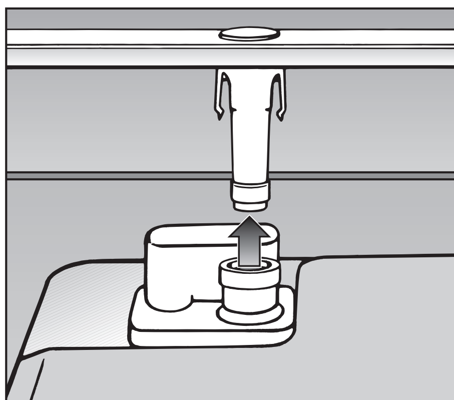
■ 食器洗い機の電源を切ります。

以下の手順に従って、スプレーアームを取り外します。

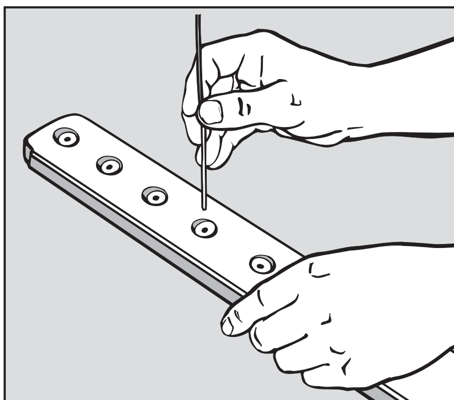


■ **中段**スプレーアームを押し上げ①、ネジにかみ合わせ、スプレーアームを時計回りに回して外します②。

■ 下段バスケットを引き出します。



■ **下段**スプレーアームを強く上に引き上げて取り外します。



■ 先のとがったもので噴水口に詰まっている食べ物のカスをスプレーアームの中に押し入れます。

■ 流水でよく洗い流します。

■ スプレーアームを元に戻し、問題なく回転するかどうか確認します。

本製品をご使用いただくにあたって、トラブルが生じた場合は、以下のトラブルシューティングガイドを参考にして対応してください。小さな問題は、簡単に解決していただけます。ただし、下記の注意点には十分ご留意ください。対応後も正常に機能しない場合や、判断が難しい場合は、ミーレ・ジャパンコールセンターまで、お気軽にお問い合わせください。



修理は、訓練を受けた技術者が行わなければなりません。
お客様自身による修理や不適切な修理は、ケガや本製品の損傷を引き起こす可能性があります。

トラブルシューティングガイド		
問題	**考えられる原因**	**対応策**
電源スイッチ（ON/OFF）① で食器洗い機の電源を入れても、「Start/Stop（スタート / ストップ）」表示ランプが点滅しない。	本製品の電源プラグが入っていません。	プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れます。
	ヒューズが切れています。	ブレーカーを戻します。
プログラムの途中で食器洗い機が停止する。	ヒューズが切れています。	– ブレーカーを戻します。 – 同じヒューズが再び切れた場合は、コールセンターにお問い合わせください。

こんなとき、どうしたらいい？

問題	考えられる原因	対応策
「Wash/Rinse（洗浄 / すすぎ）」、「Drying（乾燥）」、および「End（終了）」表示ランプが同時に点滅する。	技術的な障害が発生している可能性があります。	ー 電源スイッチ（ON/OFF）Ⓘを押して、食器洗い機の電源を切ります。 数秒後、以下の操作を行います。 ー 食器洗い機の電源を再び入れます。 ー「Programme（プログラム）」スイッチで、必要なプログラムを選択します。 ー「Start/Stop（スタート / ストップ）」スイッチを押します。 再びプログラム進行表示ランプが同時に点滅する場合は、技術的な障害が発生しています。 ー コールセンターまでお電話でお問い合わせください。
ドアが開いているときにも排水ポンプが作動する。	防水システムが反応しました。	ー 止水栓を閉めます。 ー コールセンターまでお電話でお問い合わせください。

給水 / 排水のエラー		
問題	**考えられる原因**	**対応策**
「Inlet/Drain（給水 / 排水）」トラブルチェックランプが点滅する。	止水栓が閉まっています。	止水栓を完全に開けます。
プログラムの途中で食器洗い機が停止する。「Inlet/Drain（給水 / 排水）」表示ランプが点滅する。		問題の解決に取りかかる前に、以下の操作を行います。 – 電源スイッチ（ON/OFF）① を押して、食器洗い機の電源を切ります。
	給水が制限されています。	– 止水栓を完全に開けます。 – 給水フィルターを掃除します（「メンテナンス」を参照）。 – 取水口の水圧が 0.1 MPa よりも低くなっています。取り付け設置業者にご相談ください。
	排水が制限されています。プログラムの終了時に庫内に水が残っています。	– トリプルフィルターを掃除します。「掃除とお手入れ」を参照してください。 – 排水ポンプを掃除します。「メンテナンス」を参照してください。 – 逆止弁を掃除します。「メンテナンス」を参照してください。 – 排水ホースのよじれを直します。

こんなとき、どうしたらいい？

一般的な問題		
問題	**考えられる原因**	**対応策**
表示ランプが消灯している。「Start/Stop（スタート/ストップ）」表示ランプのみがゆっくり点滅している。	エネルギー節約のため、表示ランプが自動的に切れています（スタンバイモード）。	電源スイッチ（ON/OFF）① 以外の任意のスイッチを押します。 スタンバイが終了します。
プログラム終了時に洗剤が容器に残っている。	洗剤を入れたときに、洗剤の容器が湿っていました。	洗剤を入れる前に、容器が乾いていることを確認します。
洗剤投入口のカバーがきちんと閉まらない。	洗剤のカスが詰まって、つめがかみ合わなくなっています。	つめに付着した洗剤を取り除いてください。
プログラムの終了時に、ドアの内側および庫内の壁に水蒸気の膜が付いている。	これは余熱乾燥システムによるもので、故障ではありません。	水蒸気は、しばらくすると消えます。 乾燥仕上剤をお使いでない場合は、ご使用をお勧めします。
プログラムの終了時に庫内に水が溜まっている。		問題の解決に取りかかる前に、以下の操作を行います。 – 電源スイッチ（ON/OFF）① を押して、食器洗い機の電源を切ります。
	トリプルフィルターが詰まっています。	トリプルフィルターを掃除します。「掃除とお手入れ」を参照してください。
	排水ポンプまたは逆止弁が詰まっている可能性があります。	排水ポンプまたは逆止弁を掃除します。「メンテナンス」を参照してください。
	排水ホースがよじれています。	排水ホースのよじれを直します。

使用中の音		
問題	**考えられる原因**	**対応策**
庫内で何かに当たる音がする。	スプレーアームがバスケット内の食器に当たっています。	プログラムを中断し、スプレーアームに当たっている食器を入れ直します。
庫内でガタガタと音がする。	庫内の食器類が安定していません。	プログラムを中断し、食器を入れ直します。
	さくらんぼの種などの異物が排水ポンプに詰まっています。	排水ポンプから異物を取り除きます（「メンテナンス」の「排水ポンプと逆止弁のクリーニング」を参照）。
給水管で何かに当たる音がする。	設置場所や配水管の交差が原因で起きる場合があります。	食器洗い機の機能には影響ありません。設備の点検をご希望の場合は、適正な資格のある水道工事事業者にご相談ください。

こんなとき、どうしたらいい？

食器がきれいにならない		
問題	**考えられる原因**	**対応策**
食器類がきれいにならない。	食器類が正しくセットされていません。	「食器の入れ方」を参照してください。
	プログラムの選択が不適切でした。	より強力なプログラムを選択します。「プログラム早見表」を参照してください。
	洗剤の量が足りていません。	洗剤の量を増やすか、洗剤を変えてください。
	食器類がスプレーアームの回転を妨げています。	スプレーアームがスムーズに回転するように、食器類を入れ直します。
	トリプルフィルターが汚れているか、正しく取り付けられていません。 これにより、スプレーアームの噴水口が詰まることがあります。	トリプルフィルターを掃除するか、正しく取り付けます。または、その両方を行います。スプレーアームの噴水口を掃除します。「掃除とお手入れ」を参照してください。
	逆止弁が開き、詰まっています。このため、汚れた水が庫内に逆流しました。	排水ポンプおよび逆止弁を掃除します。「メンテナンス」の「排水ポンプと逆止弁のクリーニング」を参照してください。
ガラス製品および小物類に染みが残り、ガラス製品の表面が青みを帯びて光っている。膜は拭き取ることができる。	乾燥仕上剤の設定投入量が多すぎます。	投入量を減らします。「初めてお使いになる前に」の「乾燥仕上剤」を参照してください。

問題	考えられる原因	対応策
食器類、小物類、グラス類が乾いていないまたは、乾き具合がまだらになっている。	乾燥仕上剤の量が足りていないか、乾燥仕上剤の容器が空になっています。	乾燥仕上剤を容器に補給し、投入量を増やすか、乾燥仕上剤を変えてください（「初めてお使いになる前に」の「乾燥仕上剤」を参照）。
	食器を庫内から出すのが早すぎました。	食器をしばらく入れたままにします。「操作」を参照してください。
	使用した配合タブレットの乾燥効果が不十分です。	洗剤を変えるか、乾燥仕上剤を容器に補給してください（「初めてお使いになる前に」の「乾燥仕上剤」を参照）。
小物類および食器に白いカスが残る。ガラス製品が曇る。膜は拭き取ることができる。	乾燥仕上剤の量が足りていません。	「初めてお使いになる前に」の「乾燥仕上剤の投入量の設定」を参照してください。
	不適切な配合洗剤を使用しました。	洗剤を変えてください。標準の液体洗剤、タブレット洗剤、または粉末洗剤を使用し、食器洗い機の乾燥仕上剤の投入口に乾燥仕上剤を補給します。

こんなとき、どうしたらいい？

問題	考えられる原因	対応策
ガラス製品が茶色または青色がかっている。膜は拭き取ることができる。	洗剤が原因と考えられます。	洗剤を変えてください。
ガラス製品の光沢がなくなり、変色している。膜は拭き取ることができない。	そのガラス製品は食器洗い機で洗えません。表面が傷ついています。	対応策はありません。 食器洗い機で洗えるガラス製品をご購入ください。
紅茶や口紅の染みが完全に落ちない。	選択したプログラムの洗浄温度が低すぎました。	洗浄温度の高いプログラムを選択します。
	口紅類は食器洗い機の洗浄では落ちない場合があります。	スポンジなどで軽く落としてから、食器洗い機で洗浄してください。
プラスチック製品が変色する。	人参、トマト、ケチャップなどに含まれる天然色素が原因と考えられます。 ご使用の洗剤の量、またはその洗剤の漂白効果が、天然色素に対して不十分でした。	洗剤の量を増やします（「操作」の「洗剤」を参照）。 ただし、変色を元に戻すことはできません。
小物類にさびの染みが付いている。	さびが出た小物類は食器洗い機で洗えません。	対応策はありません。 食器洗い機で洗える小物類をご購入ください。

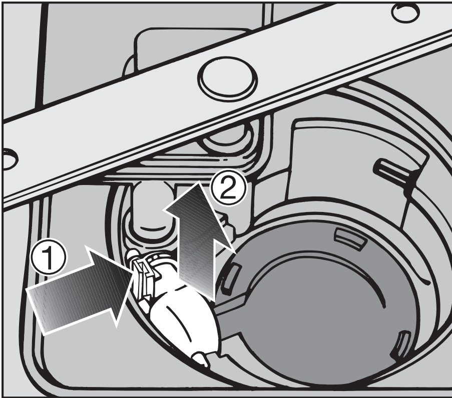
排水ポンプと逆止弁のクリーニング

プログラムが終わっても、庫内の水が抜けていない場合は、排水ポンプと逆止弁が詰まっている可能性があります。これは、簡単に取り除くことができます。

■ 食器洗い機の電源を切り、電源プラグを抜きます。

■ 庫内からトリプルフィルターを取り外します（「**掃除とお手入れ**」の「**トリプルフィルターのクリーニング**」を参照)。

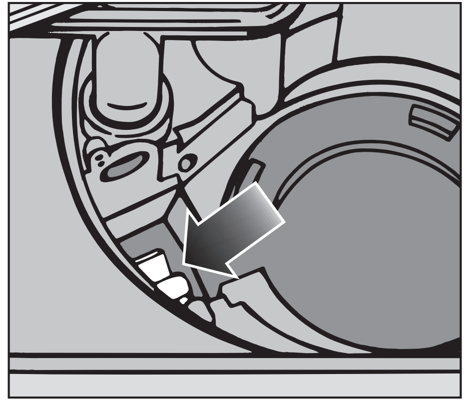
■ 適切な容器やキッチン用品を使って、庫内に残っている水を汲み出します。



■ 逆止弁のロックを内側へ押します①。

■ 逆止弁を上方向に取り外し②、流水できれいに洗います。

■ 逆止弁に付着している異物をすべて取り除きます。



排水ポンプは逆止弁の下に取り付けられています（矢印)。

■ 排水ポンプに付着している異物をすべて取り除きます（ガラスや骨の破片は特に見えにくく、ケガの恐れがあるのでご注意ください)。排水ポンプの羽根を手で回し、他に異物がないことを確認します。羽根を回すときに、軽い抵抗を感じます。

■ 逆止弁を慎重に元に戻し、ロックをかけて固定します。

> ⚠ **ロックは、必ず正しくかみ合わせてください。**

> **排水ポンプおよび逆止弁を掃除する際には、デリケートな部品を傷つけないように十分注意してください。**

プログラム早見表

食器類	食品の汚れ	必要なアクション
さまざまな日用食器類	普通の食品の汚れ全般	汚れの強さに合わせて自動調節するプログラムを選びます...
熱に弱いガラスおよびプラスチック	簡単にとれる食品の軽い汚れ	短時間のプログラムを選びます...
さまざまな食器類		低い温度帯の中で、汚れの強さに合わせて自動調節するプログラムを選びます...
	乾いてこびりつき始めた普通の食品の汚れ	使用水量と消費電力を節約できるプログラムを選びます...
		標準のプログラムを選びます...
鍋、平鍋、日用陶磁器、小物類	焦げ目が付き、乾いてこびりついた頑固な食品の汚れ（でんぷんやたんぱく質[1]を含む）	強力なプログラムを選びます...

1) ジャガイモ、パスタ、米などの食品では、でんぷん質の汚れが残る場合があります。肉のフライ、魚や卵などの食品では、たんぱく質の汚れが残る場合があります。

プログラム	洗剤 投入容器I 2)	洗剤 投入容器II 2)
Sensor wash（センサーウォッシュ）	–	25 ml またはタブレット 1 個
Quick wash 40°C（クイックウォッシュ40℃）	–	20 ml またはタブレット 1 個3)
Sensor wash gentle（センサーウォッシュジェントル）	–	20 ml またはタブレット 1 個
Energy save（エネルギーセーブ）	–	25 ml またはタブレット 1 個3)
Light soiling 50°C（ライトソイリング50℃）	–	25 ml またはタブレット 1 個
Pots & pans 75°C（ポット&パン75℃）	10 ml	25 ml またはタブレット 1 個

2)「洗剤」を参照

3) タブレットが完全に溶けない場合があります。

プログラム早見表

プログラム	工程					
	プレウォッシュ（予備洗い）	本洗い（℃）	すすぎ		最終すすぎ（℃）	乾燥
			1 回	2 回		
Sensor wash（センサーウォッシュ）	変更可能な工程。食器類の量や食品の汚れの程度に応じたセンサー制御調整					
	必要に応じて	55-65	必要に応じて		70	X
Quick wash 40 ℃（クイックウォッシュ 40 ℃）		40	X		45	X
Sensor wash gentle（センサーウォッシュジェントル）	X	45	X		55	X
Energy save（エネルギーセーブ）		45	X		60	X
Light soiling 50 ℃（ライトソイリング 50 ℃）		50	X		70	X
Pots & pans 75 ℃（ポット & パン 75 ℃）	X	75	X		70	X

消費量 1)			時間 1)	
電力		水		
水道水との接続（15 ℃、kWh）	給湯との接続（55 ℃、kWh）	リットル	水道水との接続（15 ℃、時 : 分）	給湯との接続（55 ℃、時 : 分）
0.90-1.50	0.55-0.70	13-21	1:45-2:40	1:30-2:20
0,55	0,20	13	0:38	0:32
0.85	0.30	17	1:45	1:30
0.95	0.60	13	2:59	2:50
1.10	0.80	13	1:45	1:30
1.50	0.95	17	2:55	2:35

1) 上記の数値は、EN 50242 に従って算出したものです。示されている時間は、各状況や、汚れの度合いによって結果は異なります。

ウォータプルーフ・システム

機器の接続が適切に行われていれば、万が一水漏れが起きた場合でも、ミーレのウォータープルーフシステムによって周辺設備へのダメージを防ぐことができます。

給水

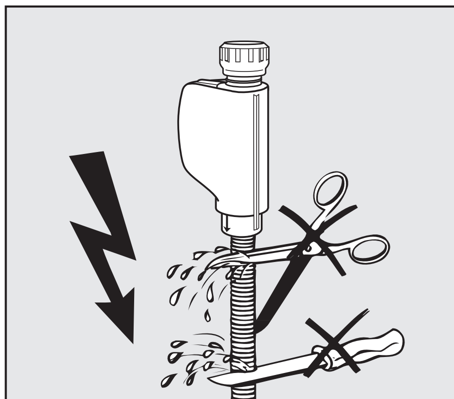
 食器洗い機内の水は飲まないでください。

– 本食器洗い機は、冷水または給湯に接続することができます（60 ℃以下）。ミーレでは、給湯への接続は、安価である場合（太陽光発電の場合など）に限ってお奨めしています。給湯に接続した場合、通常であれば低温水で行われるプログラムの全工程が温水で行われます。

– 水圧（接続部での流れの圧力）は、0.1 ～ 1 MPa の間でなければなりません。水圧が高すぎる場合は、減圧弁を取り付ける必要があります。

本食器洗い機を給水に接続したら、給水 / 排水のすべての接続に水漏れが発生していないかチェックしてください。

 本製品の損傷を防ぐため、食器洗い機は、必ず完全にエア抜きされた配管に接続してください。



 給水ホースには電気の流れる導線が取り付けられています。給水ホースを短くしたり、傷つけたりしないようご注意ください（図を参照）。

排水

– 本製品の排水システムには逆止弁が装備されているため、汚水が排水ホースから食器洗い機内へ逆流することはありません。

– 食器洗い機には、約 1.5 m のフレキシブルな排水ホースが付属しています。排水ホースの内径は 22 mm です。

– 排水ホースは、ホースを長くする接続部品を使用して延長できます。延長する場合は、排水ホースが 4 m 以上にならないようにしてください。また、排水ホースの最大よう程が 1 m を超えないようにしてください。

– ホースをご家庭の排水システムに直接接続する場合は、付属のホースクリップをご使用ください。

– ホースは、本製品の右または左のどちらにも誘導できます。

– 排水ホースは切って短くしないでください。



ホースがよじれていないことをご確認ください。また、つぶされていたり、引っ張られていないことをご確認ください。

本食器洗い機を排水システムに接続したら、給水 / 排水のすべての接続に水漏れが発生していないかチェックしてください。

仕様

外形寸法	W447 × D551 × H805 〜 870
ビルトイン寸法	W450 × D580 × H810 〜 870
重量	最大 49 kg
電圧 定格消費電力 ヒューズ定格	ドアの右側にある型式表示シールを参照。
作動給水圧	0.1 〜 1 MPa
給湯との接続	最大 60 °C
最大よう程	最大 1 m
排水ホースの長さ	最大 4 m
電源コード	約 1.7 m
容量	9 人分 *

* IEC: 国際電気標準会議（欧州においては、平たい皿類を中心とした食器を用いた国際基準を使用しています。）

電源接続

電気配線等の作業は、すべて厳正に国および地域の電気設備基準にしたがって適任な有資格者が行わなければなりません。

無資格者による設置、修理、その他の工事は危険です。当社は、無許可の工事の責任は負いかねます。

設置または修理作業が完了するまで、本製品の電源を切ってあることを確認してください。

本製品は必ず正しく設置してから使用してください。すべての電気部品を確実に遮へいするには正しく設置する必要があります。充電部は露出させないでください。

本製品を延長コードで電源と接続しないでください。延長コードを使用した場合、本製品の安全性は保証されません。

電圧、定格消費電力、アンペア数については、型式表示シールに記載してあります。これらの数値が屋内の主電源に一致していることを確認してください。

本製品の接続は、必ず電気設備基準に合ったブレーカーを経由して行ってください。

また、開閉スイッチは容易に点検できる位置に設けることが必要です。

＜重要＞

単相三線式 200V 20A（アース付）専用コンセントコードにて納品されます。

コンセントの形状を確認の上、確実に接続してください。

＜警告＞

本製品は、必ず接地（アース）してください。

＜重要＞

本製品の電気的安全性は、電気設備基準に合った有効な接地を行って初めて約束できます。この基本的な安全基準を電気工事士がテストすることはとても重要なことです。感電などの不十分な接地の結果に対する製造者責任は負いかねます。

直接的または間接的に、不正な設置や接続が行われた場合の被害・損害に対しては、いずれの場合も製造者責任を負いかねます。

アフターサービス、型式表示シール

ご自分では修理できない故障が生じた場合や、本製品が保証期間中の場合は、下記にお問い合わせください。

– ミーレ販売代理店

– ミーレ・ジャパンのコールセンター（裏表紙を参照）

コールセンターにお問い合わせになる場合、型式表示シールに記載された、ご使用の機器の型番と製造番号をお知らせください。

■ 電話受付は 24 時間 365 日承っております。

■ 製品に関するご相談や使い方についてのお問い合わせ､修理受付は平日の 9:00 から 17:30 までとさせていただきます。

メモ



愛情点検

長年ご使用の食器洗い機の点検を!

ご使用の際、
このようなことはありませんか

●電源コードやプラグが異常に熱い、キズがある。
●運転が時々止まる。
●本体に触れると電気を感じる。
●焦げ臭いニオイがする
●運転中に異常音や振動がある。
●水漏れがする。
●その他の異常や故障がある。



● 使用を中止してください ●

このような場合、事故防止のため、スイッチを切りコンセントから差し込みプラグを抜いて、必ずお求めの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険な場合がありますから、絶対になさらないでください。

ご不明な点は下記までお問い合わせください。

ミーレ・ジャパン株式会社
コールセンター 0120-310-229
〒153-0063 東京都目黒区目黒2-10-11　目黒山手プレイス9F

www.miele.co.jp

M.-Nr. 07 980 920 / 00
ja-JP